

令和7年度 特別の教育課程（書道科）の実施状況等について

春日井市立篠木小学校

1. 本校の教育目標

個性を生かし、創造性の伸長を図り、心身ともに健全でたくましく、心豊かに生きる児童を育てる。

- よく考えすすんで学ぶ子
- 仲良く助け合う子
- 健康でたくましい子

<p><校訓> たくましい からだと ころろ よく勉強し よく運動し よいことをする</p>
--

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

小学校第1～6学年において「書道科」を実施する。第1学年は、国語を30時間、生活科を4時間削減して、第2学年は、国語を30時間、生活科を5時間削減して「書道科」に充てる。第3～6学年は、国語を30時間、総合的な学習の時間を5時間削減して「書道科」に充てる。書を書くという具体的な活動を通し、友だちと触れ合ったり、家庭生活での話題をもたらしたり、地域の人々とのかかわりを生んだりする。そこから、集団の中での自分の役割や行動の仕方を考えさせるとともに、「書のまち」に生きるよさと愛着をもたせる。

また、「書道」という伝統文化や「書のまち」を発信する地域の特性を探究する活動にも取り組むことを通して、表現力の向上と向上心の伸長を図るとともに、日本古来の文化や自分の生活する地域を振り返りながら自己の生き方をも考えさせる。

(2) 特例の適用期間

平成28年4月1日～令和11年3月31日

(3) 実施学年

1年、2年、3年、4年、5年、6年、(特別支援学級 単独でも実施)

(4) 地域の特徴を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は、三蹟のひとり小野道風の生誕の地と言われており、全国的にも数少ない書専門の美術館小野道風記念館を有し、「書のまち春日井」として、書道の普及発展に力を入れている。特に、小野小学校では、愛知県下児童・生徒席上揮毫大会が昭和11年から戦争中も途切れることなく開催され、第1回からの優秀作品を保管するなど、愛知県の書道教育の中心的な役割を果たしてきている。

書道は、「文字を正しく整えて書く」ことにおいて、従前から行われてきた国語科における書写

の目的に共通するが、その文化・芸術性及び精神性においては、書写とは一線を引くものである。現在、児童の「表現力の向上」「心の教育の充実」などが重要な教育課題であると認識している。それらを解決するため、前述した地域性や学校の特色、さらには書道の特性を活かした「書道科」を新設し、表現力の向上を目指すとともに、よりよい作品をつくりあげようとする向上心、つくりにあげた達成感から得られる自尊感情、相互評価などの他者との関わりから得られる親切心や規範意識等、特に心の充実を図りたいと考える。また、同時に郷土愛についても、書道を通して「書のまち春日井」に根ざして生活している自覚を促し、育てていく。

(5) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

2に記載する特別の教育課程について、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する小学校等の教育の目標に関する規定等に照らして適切であることを、春日井市教育委員会において確認済。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する評価

(1) 評価の観点

- ① 特別の教育課程の編成・実施により、学校の教育目標が十全に達成されているか
- ② 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標が十全に達成されているか

(2) 自己評価

児 童	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの所作を丁寧に教えていただき、文字に心がこもる感覚を学ぶことができました。書道の魅力をたくさん教えていただきました。 ・正しい姿勢で書くと、心まで整うような気がします。先生に教わったことを忘れずに、これからも一文字ずつ大切に書いていきたいです。
教 員	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりの課題に合わせた具体的な助言が非常に分かりやすく、教員側の指導スキルの向上にも繋がった。 ・専門的な視点から価値づけをしていただくことで、児童が自分の字に自信を持ち、自発的に練習に励む姿が見られた。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎から丁寧に教えていただけるおかげで、子供が書道に対して前向きな関心を持つようになりました。 ・字の上達はもちろんのこと、心静かに自分自身と向き合う姿勢や礼儀まで学べる点に、教育的な価値を強く感じています。

(3) 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・単に文字をきれいに書く技術だけでなく、日本の伝統文化の良さに触れられる貴重な機会になっているように感じる。 ・正しい姿勢で集中して筆を動かすという経験は、現代の子供たちにとって非常に意義深い、大切な時間になっている。
--